

住宅用消火器について

☎ 富士見消防署 予防係 ☎61-0119

皆さんのご家庭には、住宅用消火器がありますか？

万が一火災になってしまった時、もっとも有効なのは初期消火です。住宅用消火器は、住宅火災の初期消火に適し、操作性に優れ、維持管理も容易なものとなっています。

住宅用消火器にはいくつかの種類がありますので、それぞれの特徴を紹介します。

- 強化液消火器：住宅内の火災に対応でき、特に天ぷら油火災に最適です
火元が見えやすいので、炎の確認が容易です
水系なので、消火後の掃除も比較的簡単です
- 粉末消火器：住宅内の火災に対応できる消火器です
狭い部屋の場合、粉末が充満し視界が悪くなる可能性があります
- エアゾール式『簡易消火具』
：片手で操作できるスプレータイプです
女性や高齢者も簡単に扱うことができます
身近なところに置くことができるので、素早く使えます



これらの消火器は、風呂場や洗面所などの湿気の多いところや、押し入れや物置など取りにくい場所に置くのはやめ、台所やどの部屋からも取りに行ける目につきやすい場所に設置しましょう。

また、住宅用消火器は使用期限が本体表示ラベルに記載してあるので、期限が過ぎたものは交換しましょう。

結核について ～結核ってどんな病気？～

☎ 住民福祉課 保健予防係 ☎62-9134

【結核は「現代の病気」です】

50年前まで、結核は年間死亡者数が10数万人に及び、死亡原因の第1位となっていた病気でした。国をあげて予防や治療に取り組んだ結果、結核での死亡率は激減しましたが、人々の関心の低下や治療薬が効かない多剤耐性結核など新しいタイプの結核も出てきており、今でも1日に62人の新しい患者が発症し、6人が亡くなっている日本の重大な感染症です。結核患者の多くは免疫力の低下した高齢者ですが、最近では若い世代の集団感染も問題となっています。

早期発見・早期治療のためにも年1回は結核検診を受診しましょう。

【こんな症状があったらすぐ受診を!】

結核は、「結核菌」という細菌が体の中に入り込み、主に肺に炎症を起こす病気です。重症の結核患者が、くしゃみやせきをしたときに結核菌が飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことにより感染します。通常は免疫機能が働いて発症はしないのですが、免疫力が弱まっていると発症します。

結核の初期症状はカゼとよく似ています。以下の症状があるときは早めに受診しましょう。

- せきが2週間以上続く
- たんが出る
- 微熱が2週間以上続く
- 体がだるい
- 胸痛
- 体重減少

